

第1回検討会議を踏まえた優先課題と対策について

第1回検討会議での主なご意見

主な意見

○森林所有者・経営者等へのアプローチ

- ・ 伐採届出の更新方法欄「天然更新」の山林を計画的な再造林に繋げるか
- ・ 「山を手放したい」、「誰かに預かってもらいたい」と希望する森林所有者が多い
- ・ 次の世代に山を残すことが負担と感じる所有者への意識改革が必要
- ・ 国の補助金のベースとなる森林経営計画が必要だが、作成労力、変更事務経費の維持のため、経営面からのアプローチが必要

○伐採事業者へのアプローチ

- ・ 伐採作業から再造林につなげる統一的なルールや研修の場の設定
- ・ 搬出用の作業道の設置、効率的な方法の検討
- ・ 伐採機械の大型化によるコスト削減の検証。伐採搬出と再造林に適した路網設計

○造林事業者へのアプローチ

- ・ 造林作業員が年々少なくなっているため、担い手の確保が必要
- ・ 主伐の需要が増える一方、造林を行う事業者が存在しない。造林を行う事業体の育成が必要
- ・ 下刈り作業期間(6～9月)は過酷な暑さの時期 であり、作業期間の延長等の検討が必要
- ・ 再造林に適した林地の設定
- ・ 造林作業員が減る原因は、夏場の下刈りの要因が大きい。
- ・ 植栽本数の疎仕立てを2,000本/haにしてみてもどうか。国では1,500本/haに下げても変わらないという結果がある。

○苗木生産関連

- ・ コンテナ苗の需要が増える中、コンテナ苗生産者の増加が必要

○鳥獣害対策関連

- ・ シカによる食害が酷いため、再造林に加えて防護柵の設置・管理が必要となり、多くの費用がかかることや維持管理が大きな課題

岡山県における再造林の推進に係る主な課題の再整理

